

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第31号

第31週(7月28日～8月3日)

発行年月日:平成15年(2003年) 8月 8日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (31週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (31週)	全国 (31週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	239	6	693
	パラチフス	0	0	21	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1115	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	300	6	453
	エキノкокクス症	0	0	12	1	9
	オウム病	0	1	33	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	482	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	71	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	38	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	5	494	6	888
	ツツガムシ病	0	1	133	0	329
	梅毒	0	1	298	4	561
	破傷風	0	1	38	0	105
レジオネラ症	0	1	77	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 * 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.69	1.29	1.50	0.25	0.20	0	0	1.00	
A群溶連菌咽頭炎	0.66	0.71	1.50	0.25	0.80	0	0	1.00	
感染性胃腸炎	1.13	1.86	3.33	0.75	0	0	0	0	
水痘	1.34	0.57	2.33	0.75	0.60	3.25	1.25	0.50	
手足口病	1.25	0.86	1.67	0.75	0.40	3.25	0.50	2.00	
伝染性紅斑	0.13	0	0	0	0	1.00	0	0	
突発性発疹	0.75	1.00	1.83	0.50	0.20	0	0.25	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	3.50	4.86	3.67	0.75	1.00	1.75	6.75	7.00	
麻疹	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.66	0.43	0.67	0	0.20	0.50	1.25	3.00	
急性出血性結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.57	0	0	0	0	1.00	3.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4 5 6
 定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

手足口病、ヘルパンギーナの発生は減少傾向 無菌性髄膜炎の発生は増加傾向

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、突発性発疹、無菌性髄膜炎、急性出血性結膜炎等の定点当たり患者数が増加しています。水痘、手足口病、ヘルパンギーナ等の定点当たり患者数は減少しています。

手足口病については、定点当たり患者数は減少傾向を示していますが、彦根保健所管内においては3.25と多くなっています。

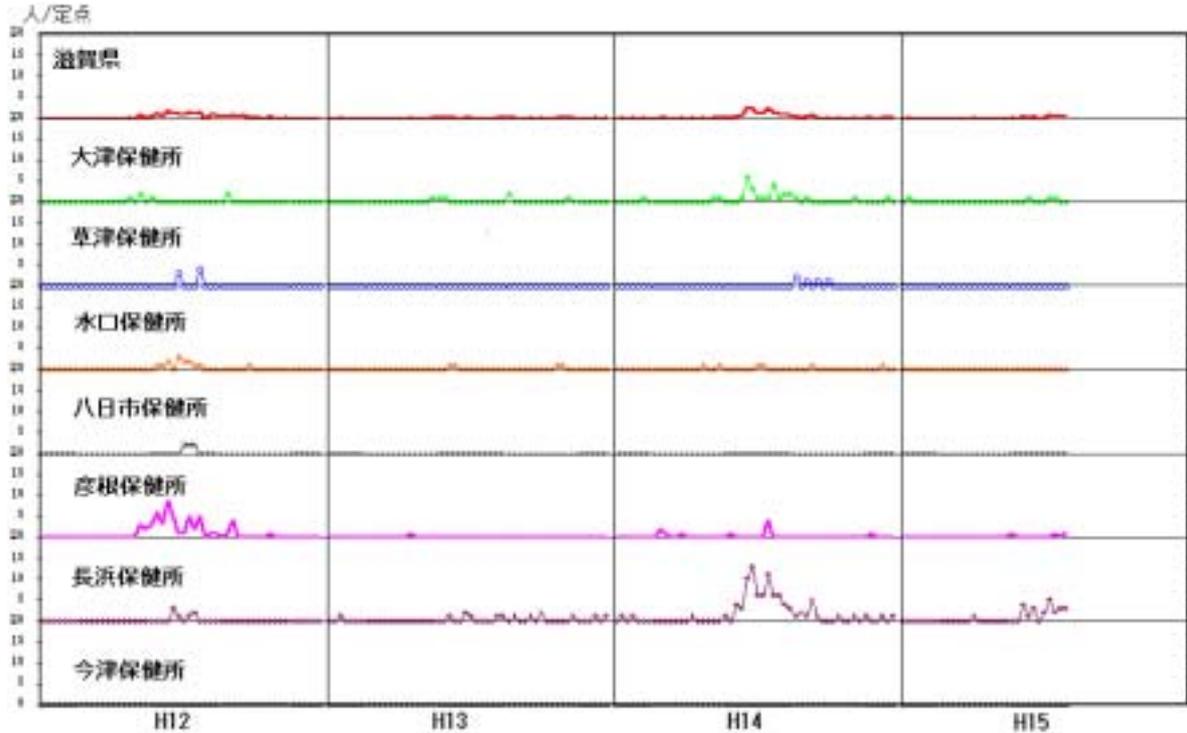
ヘルパンギーナについては、先週と比較すると定点当たり患者数はかなり減少し、昨年と同様の定点当たり患者数となっています。

麻疹については、第30週の患者報告数に変更があったため、第30週の定点当たり患者数は0.13から0.06に減少しました(疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

無菌性髄膜炎については、昨年と同様の定点当たり患者数と比較するとかなり少なくなっていますが、第23週からは患者発生の報告が増加しています。

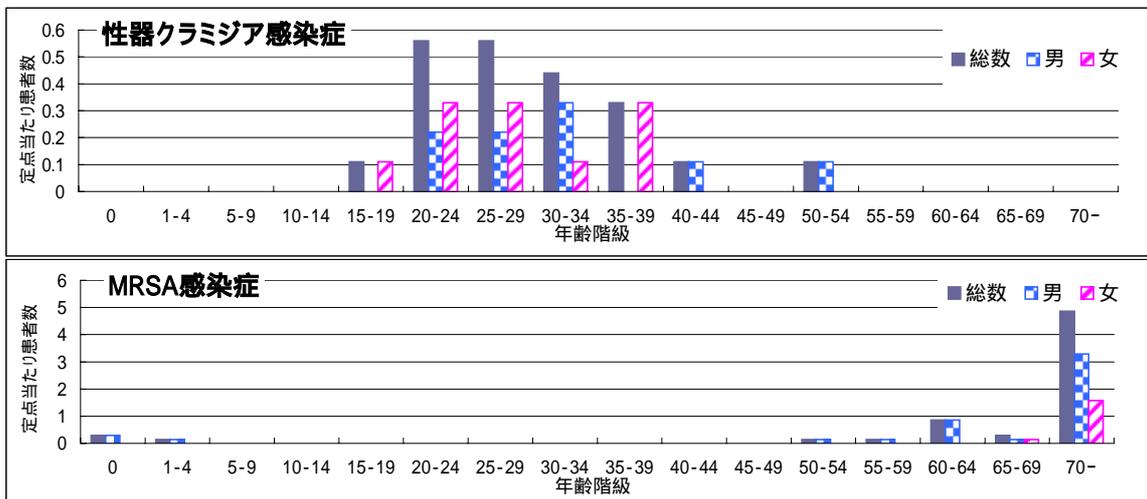
* 無菌性髄膜炎の保健所管内別発生状況は、下記のグラフのとおりです。

無菌性髄膜炎の保健所管内別発生状況(平成12年第1週~平成15年第31週)

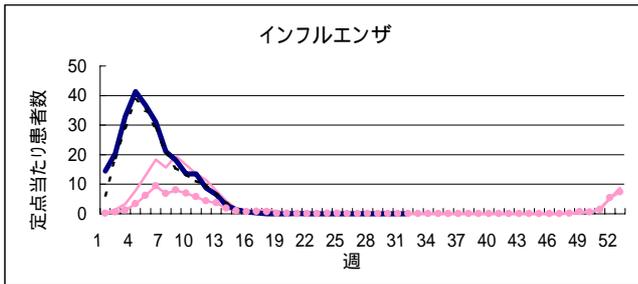


4) 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況

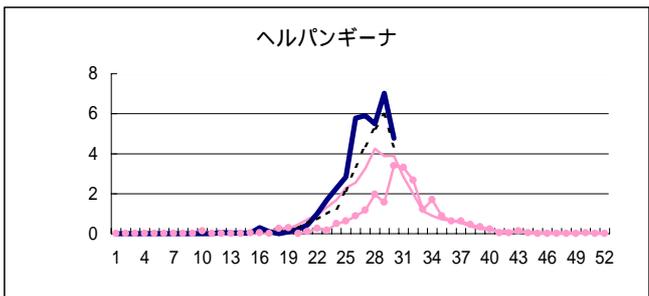
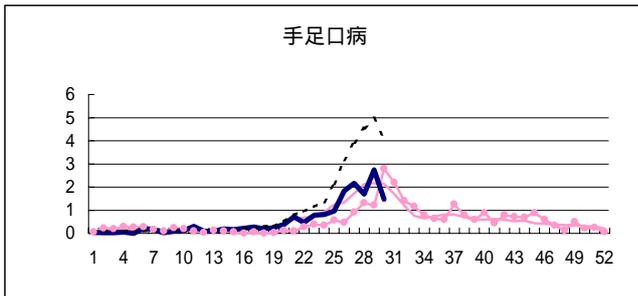
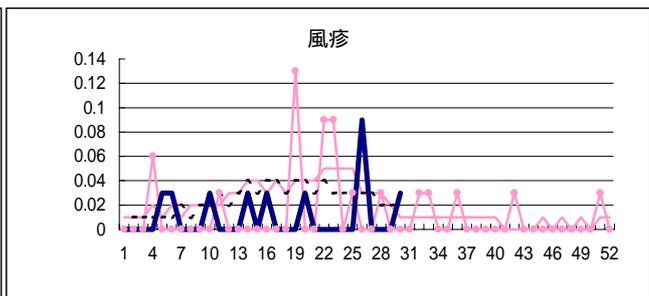
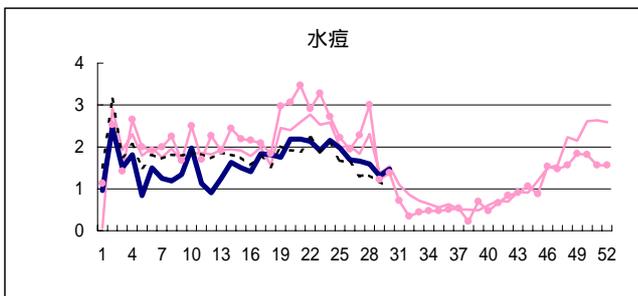
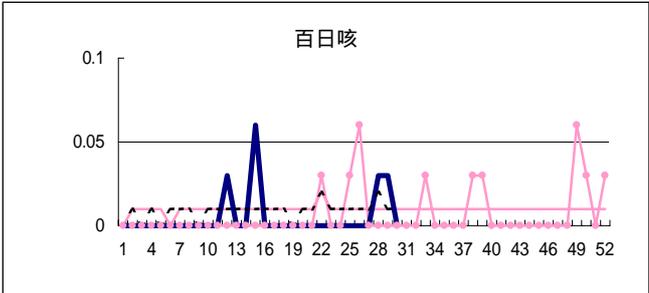
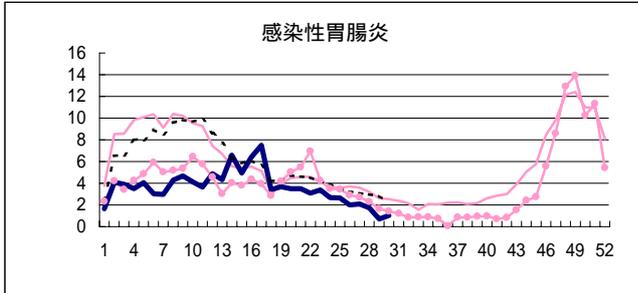
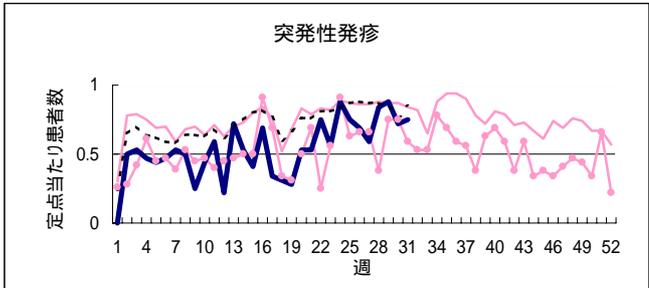
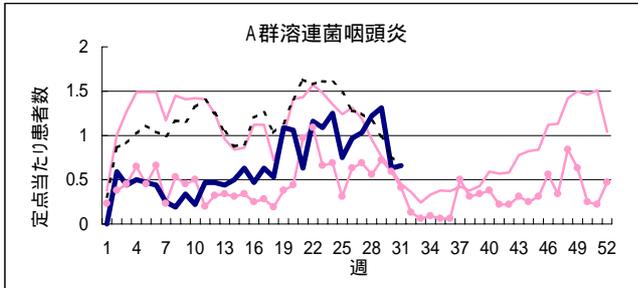
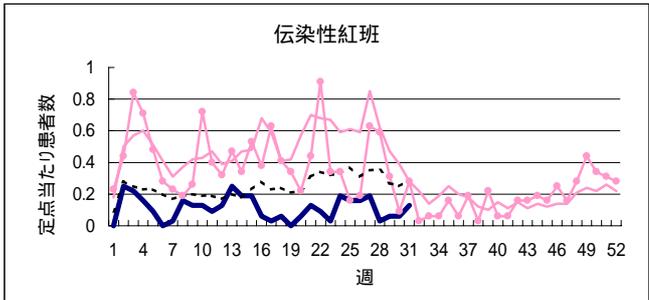
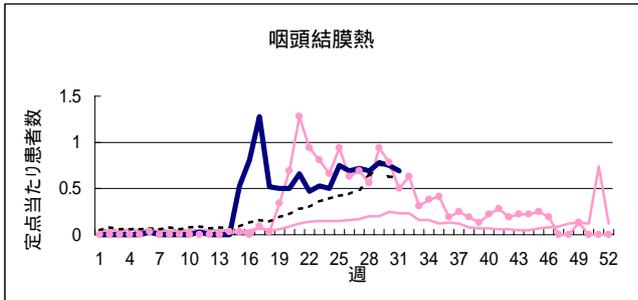
性感染症・基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、尖形コンジロームおよびMRSA感染症の定点当たり患者数が増加しています(性感染症・基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。
* MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第31週)

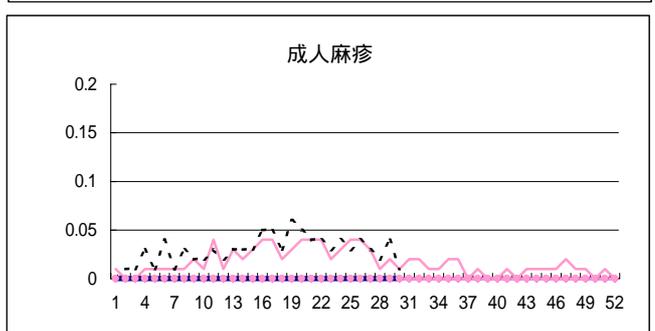
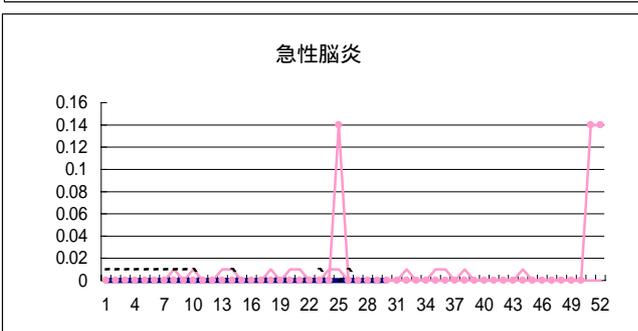
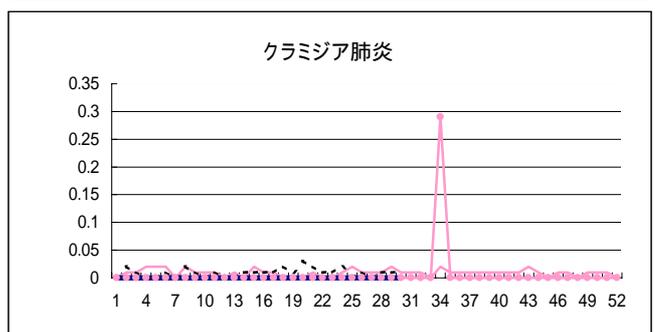
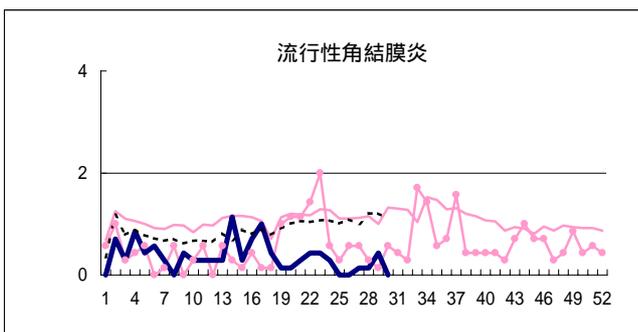
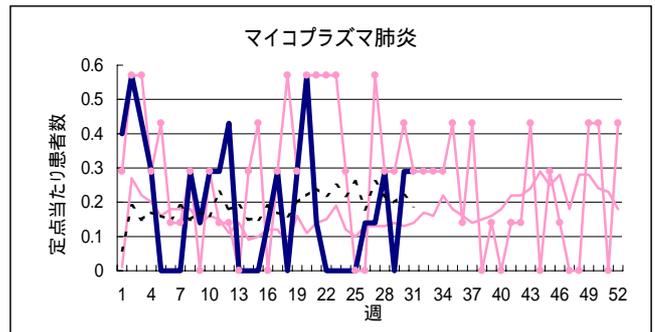
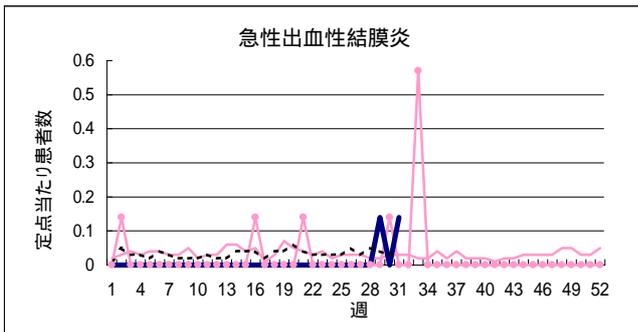
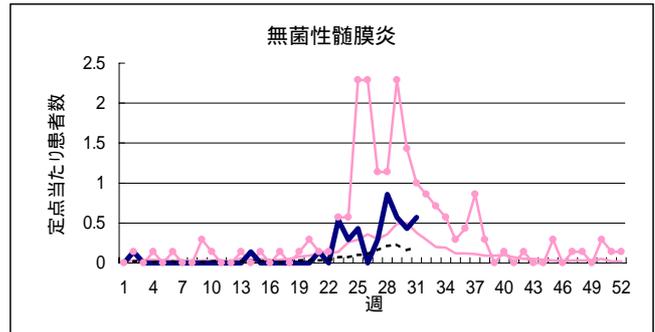
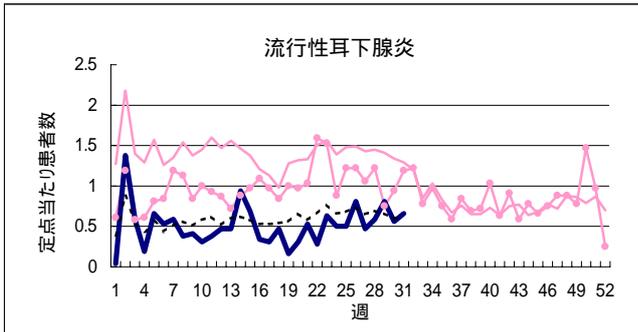
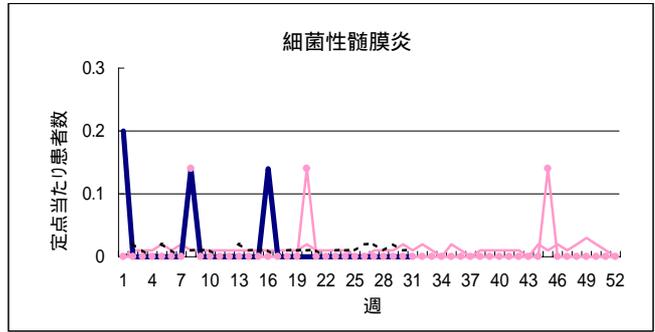
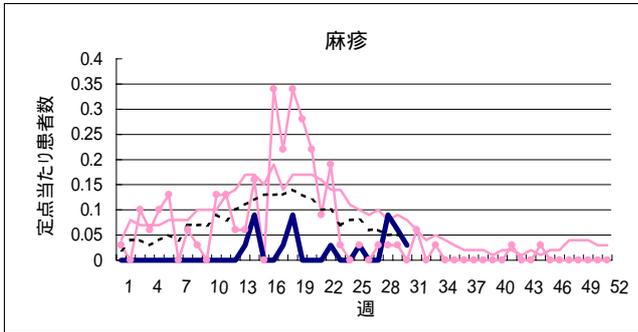


H14 { 滋賀 (solid pink line)
 全国 (dashed black line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第31週)

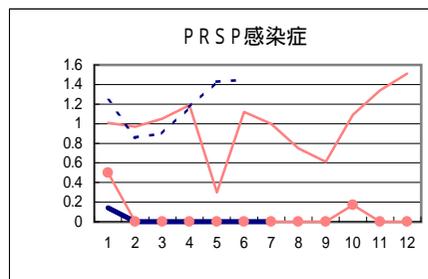
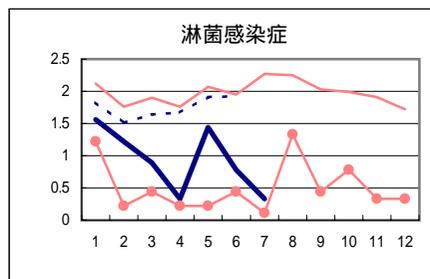
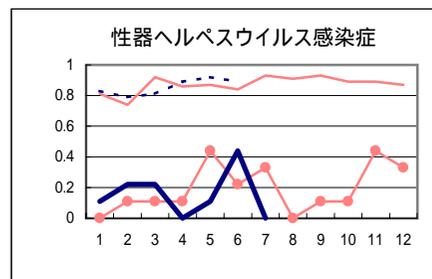
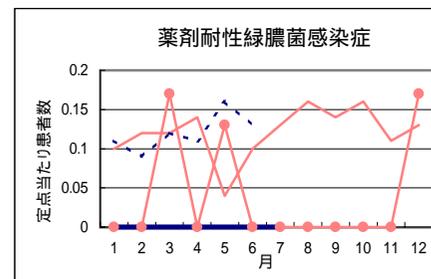
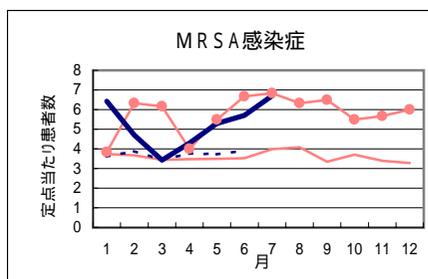
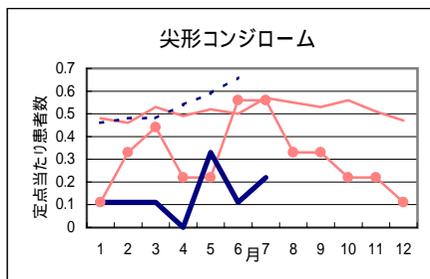
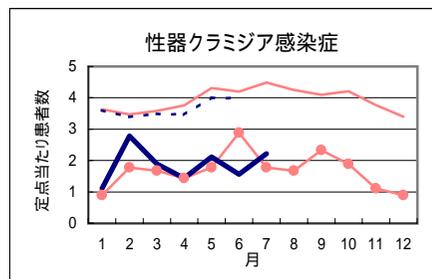
H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ————
 H15 〔 滋賀 ————— 全国 - - - - -



性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

7月報 (集計期間:平成15年1月～7月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	10	25	17	13	19	14	20						118
	定点当たり	1.11	2.78	1.89	1.44	2.11	1.56	2.22						1.87
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	2	2	0	1	4	0						10
	定点当たり	0.11	0.22	0.22	0	0.11	0.44	0						0.16
尖形コンジローム	罹患数	1	1	1	0	3	1	2						9
	定点当たり	0.11	0.11	0.11	0	0.33	0.11	0.22						0.14
淋菌感染症	罹患数	14	11	8	3	13	7	3						59
	定点当たり	1.56	1.22	0.89	0.33	1.44	0.78	0.33						0.94
MRSA感染症	罹患数	45	33	24	30	37	40	47						256
	定点当たり	6.43	4.71	3.43	4.29	5.29	5.71	6.71						5.22
PRSP感染症	罹患数	1	0	0	0	0	0	0						1
	定点当たり	0.14	0	0	0	0	0	0						0.02
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0						0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0						0



H14 { 滋賀 ●●●
全国 ———

H15 { 滋賀 ●●●
全国

MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP感染症:ペニシリン耐性肺炎球菌